

平成29年度 公益信託 松尾金藏記念奨学基金募集要項

1. 応募できる者

関東・東海・中国・四国・九州・沖縄地区にある大学院において文学、哲学(宗教学、美学、美術史を含む)、言語学、人文地理学、文化人類学、教育学、心理学、社会学、史学等(経・法を除く人文社会)を学ぶ、平成29年4月現在における修士課程(博士前期課程)及び博士課程(博士後期課程)1年次の学生(留学生を除く)で、次の各号に該当すると認められる者。

(1) 就学上奨学金の援助を必要とする者。

修士課程の応募者：家族の生計を支える者の前年度年収、又は本年度の見込みが原則800万円(税込総収入)以下とする。

博士課程の応募者：本人の前年度年収、又は本年度見込みが原則250万円(税込総収入)以下とする。

(2) 原則として他の奨学金(日本学生支援機構を含む)を受給していない者。(他の奨学金との併願は可とするが、当基金で採択されたときはどちらか一つを選択のこと)

(3) 品行方正、健康で学業成績が優秀な者。

(4) 年齢(平成29年4月1日現在)が30歳以下の者。

2. 奨学金等

(1) 奨学金の額は、年額 1,000,000円とする。

(2) 奨学金の給付期間は、3ヵ年以内(最短修業年限)とし、原則として次のとおりとする。

(年度毎に継続可否の審査を行う)

修士課程(博士前期課程) 1年～2年

博士課程(博士後期課程) 1年～3年

(3) 奨学金は、原則6月及び11月の一定日に各6ヵ月分を給付する。

(4) 奨学金の給付方法は、奨学生が当基金に届け出た銀行口座に振り込む。

3. 本年度採用予定人数

10名程度

4. 応募の手続き

奨学生に応募する者は、次に掲げる申請書類を、在学する大学の担当部署を経て平成29年4月28日(金)迄に当基金に提出する。(必着)

大学は、学内選考のうえ修士課程1名以内・博士課程1名以内を推薦して下さい。

(1) 奨学生願書(様式 1)

(2) 奨学生推薦調書(様式 2・指導教員によるもの)

(3) 作文(A4用紙2枚以内・様式は自由)

題 (修士課程、博士課程とも) 進学の目的と具体的な研究計画

※研究課題を30文字以内で記載すること

(4) 成績証明書等

・修士課程1年

①学部卒業論文要旨(800字程度) ②学部卒業時の成績証明書

学部卒業論文のない応募者は卒業論文に代わるもの(研究内容要旨等)

- ・博士課程 1年

①研究業績リスト（学会発表等を含む、様式は自由）②修士課程 2年間の成績証明書

(5) 所得を証明できる書類等

- ・修士課程 1年 ①家族の生計を支える者の源泉徴収票(写)又は所得証明書等
- ・博士課程 1年 ①本人の源泉徴収票(写)又は所得証明書等

5. 選考及び決定

当基金は、4.により申請のあった者につき、当基金に設けた運営委員会に諮り、奨学生を6月末日までに決定し、在学する大学の担当部署を経て、本人に通知する。

6. 学業成績の報告

奨学生は、毎学年終了後、在学する大学の担当部署を経て、学業成績証明書、研究報告書を当基金に提出しなければならない。

7. 異動届出

奨学生は、次に該当する場合は、在学する大学の担当部署を経て直ちに当基金に届け出なければならない。

- (1) 疾病その他の事故又は個人的事情により1ヶ月以上大学院を欠席するとき。
- (2) 休学、復学、転学、転研究科、転専攻又は退学しようとするとき。
- (3) 本人の住所又は奨学金振込銀行等その他重要な事項に変更があったとき。

8. 奨学金の打ち切り

奨学生に、つぎの各号の中の一に該当する事項が生じたときは、奨学金の給付を打ち切ることがある。

- (1) 傷害、疾病などのため就学の見込みがなくなったとき。
- (2) 停学、退学等の処分を受けたとき。
- (3) 学業成績又は素行が不良となったとき。
- (4) 奨学金を必要としない事由が生じたとき。
(他の奨学金を受給することとなったとき及び就職したとき等)
- (5) 自主退学したとき。
- (6) 関東、東海、中国、四国、九州、沖縄地区以外の大学に転学及び文学、哲学、教育学、心理学、社会学、史学以外の研究科に転研究科又は転専攻したとき。
- (7) 虚偽の申請をしたとき。
- (8) その他奨学生として適当でない事由が生じたとき。

9. 奨学金に対する義務

この奨学金は返還の義務はない。ただし、虚偽の申請等重大なる不正行為があったときは、奨学金の一部又は全額の返還を求めることがある。

10. 関係書類の提出先及び照会先

<公益信託松尾金藏記念奨学基金事務局>

〒100-8212 東京都千代田区丸の内1-4-5

三菱UFJ信託銀行リテール受託業務部 公益信託課 松尾金藏記念奨学基金担当

電話：0120-622372（フリーダイヤル）

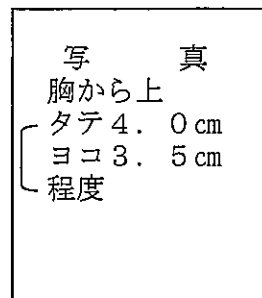
（受付時間 平日9：00～17：00 土・日・祝日等を除く）

koueki_post@tr.mufg.jp（メール件名には基金名を必ずご記入下さい）

公益信託 松尾金藏記念奨学基金奨学生願書

記入上の注意

- 1. 楷書で記入すること。
- 2. 数字はアラビア数字を用いること。
- 3. 固有名詞は、すべて正式な名称とし、省略しないこと。



- (ふりがな)
1. 氏名 (自署) _____ (男 ・ 女)
2. 生年月日 _____ 年齢 (歳) _____
3. 大学名・研究科等 _____ 大学 (修士・博士) _____ 年次 _____
- _____ 研究科 _____ 専攻 入学年月 _____ 年 月 入学
4. 現住所 〒 (-) _____
- TEL _____

5. 最終学歴

学 校 名	所在地 (都道府県名)	卒業年	専攻科目	学位 (資格)

6. 職歴

勤務先名	所在地 (都道府県名)	勤務期間 (年月～年月)

7. 家族状況

氏 名	続柄	年齢	職業	住 所	前年度の年収又は本年度の見込

公益信託 松尾金藏記念奨学基金奨学生推薦調書

氏 名	フリガナ (男・女)
生 年 月 日	年 月 日 (歳)
大学名・研究科等	大学 (修士・博士) 年 研究科 専攻 年 月入学
推 薦 理 由 (面接評価を含む) ※なるべく具体的に お書き下さい。	

平成 年 月 日

大 学 名

推 薦 者 役 職

推 薦 者 名

印

作文（書式例）
※A4用紙2枚以内

1. 進学目的（400字程度）

--

2. 具体的な研究計画

研究課題（30文字以内）

研究計画

作文（書式例）
※A 4用紙 2枚以内

A large, empty rectangular box with a thin black border, occupying most of the page. It is intended for the student to write their essay within these boundaries.

家 庭 調 査 書

申 請 者	所 属	_____学群 _____学類 _____年次										
	学籍番号				性別	男・女		現住所	〒 _____ TEL (_____)			
	フリガナ											
	氏 名						家族住所	〒 _____ TEL (_____)				
家 族 及 び 所 得	就 学 者 を 除 く 家 族	続柄	氏 名	年 齢	職 業	在職 期間	勤 務 先 名 称	給与所得の収入 金額 (税込)	給与所得以外の 所得金額			
		父				年		万円	万円			
	母					年		万円	万円			
	父または母 死亡・離別の場合 時期 (年 月) 理由 ()											
	主たる家計支持者無職等の場合 時期 (年 月) 理由 ()											
						年		万円	万円			
						年		万円	万円			
						年		万円	万円			
						年		万円	万円			
	別 居 者 に ○ 印	就 学 者	続柄	氏 名	年 齢	学 校 名	設置者別	学 校 種 別	通学別	控 除 額		
本人					筑波大学	国立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自宅外	万円			
						※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自宅外	万円			
						※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自宅外	万円			
						※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自宅外	万円			
家 庭 の 特 殊 事 情	特別控除項目		控除有無									
	障害者がいる世帯		※有・無 続柄 () 氏名 () 手帳番号 ()									
	その他											
本 人 の 状 況	家庭からの給付		月額 (千円)					認 定				
	アルバイト		月額 (千円) 内容 ()					総収入金額	① 万円			
	奨学金	受給中	月額 (千円) 団体名 ()					必要経費	② 万円			
		申請中	月額 (千円) 団体名 ()					特別控除額	③ 万円			
	その他の収入		月額 (千円) 内容 ()					総所得金額	④=①-②-③ 万円			
学 業 成 績	評 価	高等学校	5	4	3	2	1	平 均 値	収入基準額	世帯人数 人		
		大学 (院)	A	-	B	C	-			⑤ 万円		
	修得単位数または科目数									家計充足率	⑥=④÷⑤×100	

- (注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。
2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。
(父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。
3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。
(父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)
4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のいる世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。
5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあっては出身学校の成績を記入(科目数で平均値を算出)し、成績証明書を添付すること。2年次以上の者にあっては、前年度までの成績(修得単位数で平均値を算出)を記入し、成績証明書を添付すること。